

# 「滋賀県地場産野菜販売コーナーの有無調査」

## ～滋賀県下大型食品店舗 94 か所を巡る～

しが消費生活研究会

### 1. はじめに

地産地消が言われて久しい。特に滋賀県では、行政、民間が協力して「おいしが うれしが」を合言葉に掲げて地産地消を推進している。「おいしが うれしが」のホームページによると、県内スーパーマーケットの内 81 店舗（2018 年 10 月末現在）が「おいしが うれしが」推進店舗として掲載されている。そこで、消費者の多くが利用する食品量販店、スーパーマーケット、食品専門店などで、滋賀県地場産農産物（生鮮野菜）がどのように扱われているのか、あるいは販売されているのかを調査した。これらを通じて滋賀県における地産地消の一端を把握する。また、そこから見えてくること、課題などについて考察する。

### 2. 調査の概要と結果

#### （1）調査方法と調査項目

滋賀県下には企業系列や協同組合のスーパーマーケット、食品量販店、大型食品専門店などが 170～180 店舗程度存在すると推定される（調査した店舗のホームページを通じて把握）。今回は当会会員が生活行動範囲にあるこれらの店舗を実際に訪れ、店舗の野菜販売コーナーに、滋賀県産であることを表示した地場産野菜コーナーが設置してあるか否か、そして設けている場合はその野菜の品数を確認した（乾物、穀類、加工品は除く）。

調査期間は 2018 年 6 月 7 日から 10 月 25 日までとした。

#### （2）調査結果

調査店舗数は合計 94 店舗、滋賀県の自治体の内、愛荘町、豊郷町、多賀町、甲良町の 4 町を除く 13 市 2 町に及び、県下大型総店舗数の過半数前後に及んだと推定する。系列企業・協同組合数は総計 24 社・組合（22 系列）となった。

個別店舗の一覧表、自治体別一覧表およびその結果は別表・グラフの通りである。

地場産野菜販売コーナーには以下のような表示、看板、のぼりなどが設置されていた。

「おいしが うれしが」「地場農産物」「地元の夏野菜」「地元滋賀湖国育ち」「近江の野菜、近郊野菜」「大津の野菜」「地場野菜コーナー」「こうかの野菜」「草津あおばな館」等々である。

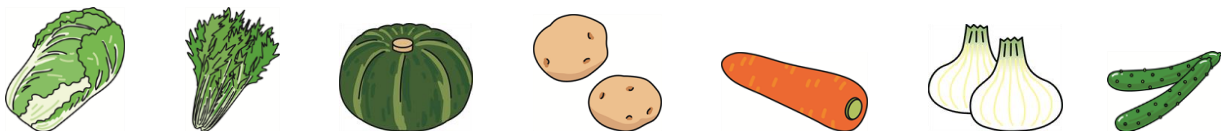
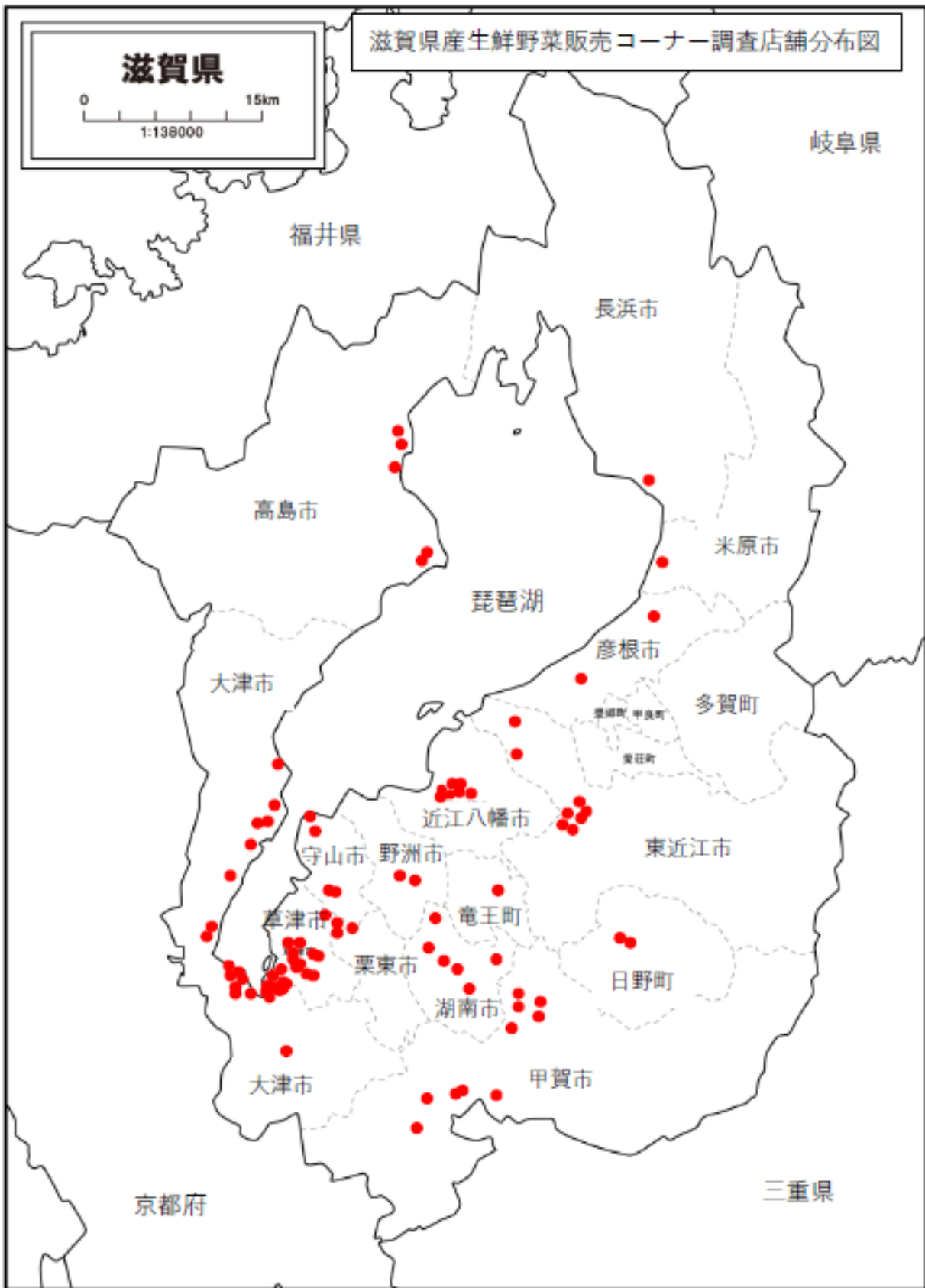
＝お断り＝

ここに記載の調査結果はあくまでも当会調査委員が調査した当日の結果である。この調査日に「無」と判定された店舗で、後日コーナーが設置されていた事例がある。また、その逆の事例もあった。しかし、ここでは恣意性を排除するために調査員が最初に調査確認した事実を結果として記すこととした。そのほか、コーナーが設置してあるにもかかわらず、陳列野菜はすべて県外産という事例が一例あった。これは「無」と判定した。

また、調査では陳列されている生鮮野菜の種類数の確認も行った。ただ、調査時刻によって陳列数が異なること（午後に調査した場合、売り切れが少なからずあった）、また、調査時期（季節）により生産される野菜の種類が異なるため、店舗の調査日によって種類数が大きく左右されることがわかった。従って、今回は種類数の調査結果は報告からは除外することとした。



図表 1. 調査店舗の地域分布地図

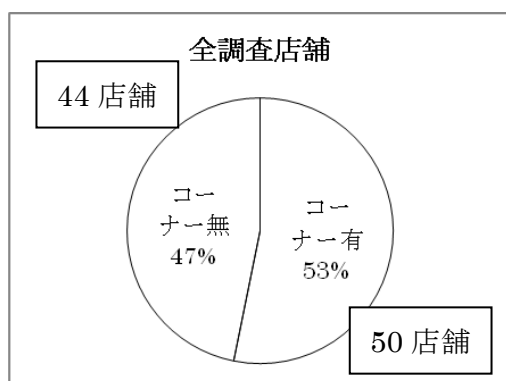


図表 2. 調査店舗における地場産野菜販売コーナーの有無の結果表-1

番号	調査店名	店舗地域	コーナーの有無	調査日
1	ピアゴ・フォレオ大津店	大津市	有	6月4日
2	フレンドマート瀬田川店	大津市	有	6月4日
3	トライアル滋賀大津店	大津市	有	6月19日
4	平和堂石山店	大津市	有	6月14日
5	アル・プラザ瀬田	大津市	有	7月9日
6	ダイエー瀬田店	大津市	無	7月9日
7	フレスコ神領店	大津市	無	7月12日
8	マックスバリュ大津神領店	大津市	無	8月10日
9	西武大津店	大津市	無	9月16日
10	マックスバリュ膳所店	大津市	有	9月16日
11	バロー大津店	大津市	有	9月16日
12	フレンドマート大津テラス店	大津市	有	9月16日
13	マツヤスーパー大津美崎店	大津市	無	8月10日
14	コープ膳所店	大津市	有	8月10日
15	フレンドマート膳所店	大津市	有	8月10日
16	フレンドマート大津京店	大津市	有	10月8日
17	イオンスタイル大津京店	大津市	有	10月8日
18	フレスコ膳所店	大津市	無	9月16日
19	フレンドマート南郷店	大津市	有	9月22日
20	イズミヤ堅田店	大津市	有	10月9日
21	フレスコ仰木店	大津市	無	10月2日
22	アル・プラザ堅田	大津市	有	9月24日
23	平和堂和邇店	大津市	有	9月14日

番号	調査店名	店舗地域	コーナーの有無	調査日
24	平和堂坂本店	大津市	有	9月27日
25	フレンドマート雄琴駅前店	大津市	有	10月16日
26	マックスバリュ月輪店	大津市	有	10月25日
27	フレンドマートグリーンヒル青山店	大津市	無	9月12日
28	イオンモール草津店	草津市	有	6月7日
29	ラ・ムー草津店	草津市	無	6月7日
30	近鉄百貨店草津店	草津市	無	9月24日
31	平和堂草津店	草津市	無	9月24日 10月19日
32	アル・プラザ草津	草津市	無	7月18日
33	西友南草津店	草津市	無	6月22日
34	サンディ南草津店	草津市	無	7月26日
35	スーパーハズイ西店	草津市	無	7月18日
36	バロー草津店	草津市	有	7月18日
37	マツヤスーパー矢倉店	草津市	無	9月12日
38	スターグリーンヒル店	草津市	無	9月12日
39	フレンドマート追分店	草津市	無	9月12日
40	フレンドマート南草津店	草津市	無	9月19日
41	阪急オアシス草津店	草津市	無	9月24日
42	フレンドマート長浜駅前店	長浜市	有	10月19日
43	フレンドマート能登川店	東近江市	無	9月17日
44	フレンドマート蒲生店	東近江市	有	9月19日
45	マックスバリュ八日市店	東近江市	有	9月21日
46	バロー八日市店	東近江市	有	9月21日

図表 3. 全調査店舗の結果



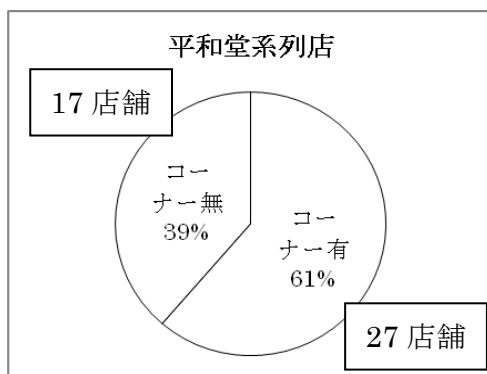
調査全 94 店舗中、「コーナー有」は 50 店舗 (53%)、「コーナー無」は 44 店舗 (47%) であった。主な企業系列別に見てみると、平和堂系が 27/44 (61%)、イオン系が 8/9 (89%)、バロー系が 4/7 (57%)、ユニー系が 3/4 (75%)、西友系が 2/4 (50%) であった。これらの系列店以外では「コーナー有」は 26 店舗中 6 店舗 (23%) にとどまる。

図表 4. 調査店舗における地場産野菜販売コーナーの有無の結果表－2

番号	調査店名	店舗地域	コーナーの有無	調査日
47	西友八日市店	東近江市	有	9月21日
48	アル・プラザ八日市	東近江市	無	9月21日
49	マックスバリュ東近江店	東近江市	有	9月21日
50	ピアゴ今崎店	東近江市	有	9月21日
51	ピバシティ平和堂	彦根市	無	9月17日
52	アル・プラザ彦根	彦根市	無	10月7日
53	フレンドマート信楽店	甲賀市	有	9月19日
54	フレンドマート甲南店	甲賀市	無	9月19日
55	フレンドマート土山店	甲賀市	有	9月19日
56	フーズアイランド土山店	甲賀市	無	9月19日
57	ベイシア甲賀店	甲賀市	有	9月19日
58	パロー水口店	甲賀市	無	9月19日
59	ザ・ビッグエキプレス甲南店	甲賀市	無	9月21日
60	西友水口店	甲賀市	無	9月21日
61	ピアゴ水口店	甲賀市	無	9月21日
62	アル・プラザ水口	甲賀市	有	9月21日
63	イオン近江八幡店	近江八幡市	無	10月9日
64	ピアゴ近江八幡店	近江八幡市	有	10月2日
65	アル・プラザ近江八幡	近江八幡市	無	10月7日
66	フレンドマート八幡上田店	近江八幡市	有	10月5日
67	フレンドマート江頭店	近江八幡市	無	10月16日
68	丸善近江八幡店	近江八幡市	有	10月10日
69	トライアル近江八幡店	近江八幡市	無	10月20日
70	TOKUYA (ピエリ守山店)	守山市	無	10月15日

番号	調査店名	店舗地域	コーナーの有無	調査日
71	平和堂守山店	守山市	無	10月7日
72	パロー守山東店	守山市	有	10月7日
73	フレンドマート守山水保店	守山市	有	10月15日
74	アル・プラザ栗東	栗東市	有	9月22日
75	フレンドマート栗東店	栗東市	無	9月22日
76	パロー栗東苧原店	栗東市	無	10月7日
77	マックスバリュ駒井沢店	栗東市	有	10月7日
78	平和堂今津店	高島市	有	9月11日
79	Aコープ今津店	高島市	有	9月11日
80	Aコープ平ヶ崎店	高島市	無	9月13日
81	平和堂安曇川店	高島市	有	10月23日
82	パロー安曇川店	高島市	無	10月23日
83	トライアル湖南店	湖南市	有	6月30日
84	平和堂石部店	湖南市	有	6月30日
85	フレンドマート菩提寺店	湖南市	無	6月30日
86	平和堂甲西中央店	湖南市	有	6月30日
87	イオンタウン(ザ・ビッグエキストラ)	湖南市	有	6月30日
88	平和堂甲西店	湖南市	有	9月19日
89	アル・プラザ野洲	野洲市	有	10月7日
90	西友野洲店	野洲市	有	10月7日
91	平和堂米原店	米原市	無	10月19日
92	フレンドマート日野店	日野町	有	9月18日
93	フーズアイランド日野店	日野町	無	9月18日
94	フレンドマート竜王店	竜王町	無	9月19日

図表 5. 平和堂系列店の結果

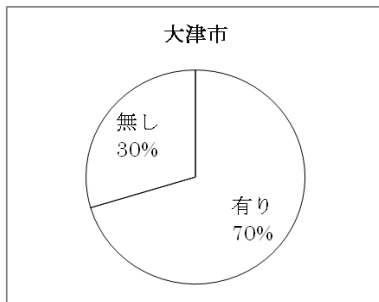


平和堂などを展開する株式会社平和堂は滋賀県内に展開する最大の小売店であり、店舗数も多く、その割合は滋賀県下のスーパーマーケットの40%強と推定される。従って、小売業界におけるその影響は大であり、平和堂関連小売店のみ抽出してみた。その結果、61%が「コーナー有」となっている。逆に平和堂関連以外の店舗では「コーナー有」は46%である。

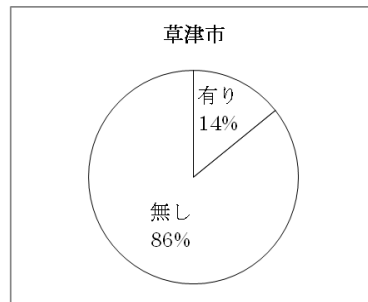
図表 6. 自治体別調査店舗数と地場産野菜販売コーナーの有無(表示は自治体人口順位による)

自治体名	調査店舗数	コーナー有	コーナー無	コーナー有の割合	自治体名	調査店舗数	コーナー有	コーナー無	コーナー有の割合
大津市	27	19	8	70%	栗東市	4	2	2	50%
草津市	14	2	12	14%	高島市	5	3	2	60%
長浜市	1	1	0	100%	湖南市	6	5	1	83%
東近江市	8	6	2	75%	野洲市	2	2	0	100%
彦根市	2	0	2	0%	米原市	1	0	1	0%
甲賀市	10	4	6	40%	日野町	2	1	1	50%
近江八幡市	7	3	4	43%	竜王町	1	0	1	0%
守山市	4	2	2	50%	<b>合計</b>	<b>94</b>	<b>50</b>	<b>44</b>	<b>53%</b>

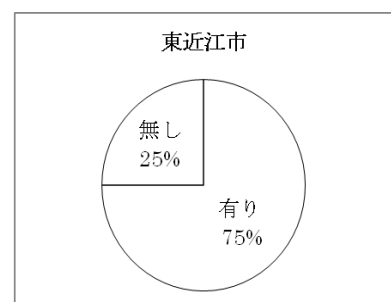
図表 7. 大津市



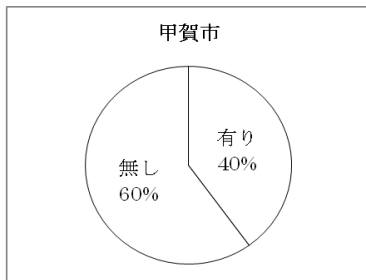
図表 8. 草津市



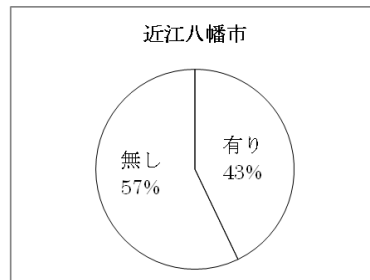
図表 9. 東近江市



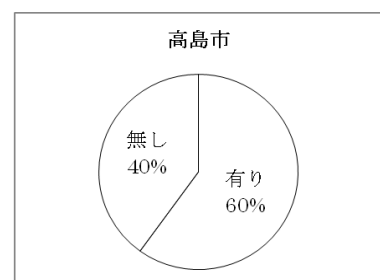
図表 10 甲賀市



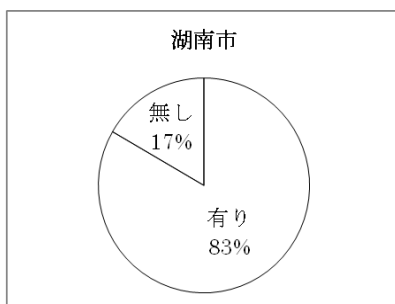
図表 11 近江八幡市



図表 12 高島市



図表 13. 湖南



店舗が所在する自治体別にコーナーの有無をまとめ、5店舗以上のデータがある7市についてはグラフ化した。その結果、滋賀県下人口第一位の都市である大津市(約34.3万人)が70%という高い割合でコーナー設置しているのに対し、第二位である草津市(13.4万人)が14%と他自治体と比較しても極端に低い割合となっているのが分かる。そのほか、サンプル数は少ないが、東近江市(11.4万人)、湖南市(5.5万人)にコーナー設置率が高いことがわかる。

### 3. まとめ

そもそも、食品スーパーや店舗に「地場産野菜コーナー」を設けることが、地産地消に繋がるのであろうかという疑問がある。少し古くなるが、2009（平成 21）年度の富山県の県政世論調査が参考になる。「地産地消をさらに進めるために必要なこと」という質問への回答の中で、第一位の「地場産品の生産を増やし、品揃えを充実」（44.3%）に続いて、「直売所やスーパーの産直コーナーを増やす」（40.4%）が第二位に入っている。ちなみに第三位は、「学校給食や社員食堂での地場産品の活用拡大」（20.2%）である。

この結果を踏まえると、「地場産野菜コーナー」を小売店舗が設けることは地産地消に貢献するであろうと考えても良さそうである。従って、「地場産野菜販売コーナー」の有無の調査は、そのままその地域の地産地消への意識や実践の程度を、一部ではあるが映し出しているのではと推測される。

今回の調査は滋賀県内のみであり、他府県との比較データはなく相対的な評価は難しい（ただ、後述するように滋賀地域には地産地消への先進的取り組みが評価されている団体や組織が多いことは事実である）。

一方で、滋賀県内での地域ごとの違いはある程度明確となった。しかし、この原因がどこにあるのか（例えば、行政などの取り組みの違い、地域店舗の取り組みの違い、生産を含む地域供給体制の問題など）についてはこの調査ではわからない。ただ、以下いくつかの情報がそのヒントになるかもしれない。

①大津市では 2013（平成 25）年から学校給食向け野菜の生産拡大を推進し、「野菜産地の強化」に努めてきている。また、2017（平成 29）年 3 月に大津市 6 次産業化・地産地消推進戦略を策定し、2016（平成 28）年度から 5 か年計画で第 6 次産業化の推進と地産地消を推進するとしている。

②東近江市は、地元の野菜を買い取り、市民に販売する会社「東近江めぐりステーション」を設立している。また、東近江市地産地消推進協議会では地産地消を紹介するウェブサイト「OTTOATTA（おっとあった）東近江」を開設している。

さらには、「栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会」が、2017（平成 29）年度地産地消等優良活動表彰（※）の交流部門で、2015（平成 27）年には、「あいとう直売館」が地域振興部門で、2009（平成 21）年度には「農事組合法人 万葉の郷ぬかづか」が交流促進部門で、それぞれ農林水産大臣賞を受賞している。地産地消に熱心な地域であることが伺える。

（※）農林水産省が実施している、全国各地のそれぞれの立地条件を活かした創意工夫のある様々な地産地消及び国産農林水産物・食品の消費拡大の取組を募集し、優れた取組を表彰する制度。

③一方、草津市では市健康増進課の以下のようなコメントが気になる。

「（調査によると）食育への関心の低さや朝食を抜く人の割合、バランスの取れた食事への意識の低さが目立ちました。野菜の積極的な摂取に関しては、前回の調査時よりは改善されているものの、国の平均を大きく下回る結果となっており、他の調査では、地産地消に対する意識が低下しているというものもありました」（HP より一部抜粋）

また、各小売店企業による取り組みの差も明確である。やはり、地元最大の小売店である平和堂グループの取り組みは、全体への影響が大きい。イオングループは 9 店舗中 8 店舗がコーナーを設けており、充実した品揃えとなっている店舗も多い。一方、大型店舗とはいえ比較的小規模店を展開する企業やディスカウント（安さ）を売り物にする企業ではコーナー

を設けている店舗は少数派のようである。そのような余裕はないということであろうか。

なお、これらの調査を行う過程でいくつかの興味あることがわかった。

ひとつは、滋賀県産野菜の評価についてである。2018年10月4日に開催した大津市公設市場見学会の際、説明担当者から、滋賀産野菜が他府県で人気であるということを教えていただいた。最近、「近江牛」「近江米」のブランド価値が高まっているようであるが、滋賀産野菜も「近江野菜」としてイメージアップしているのかもしれない。

いま一つは、滋賀の地産地消活動への取り組みである。先に記した東近江市の三つの団体の以外にも、2016（平成28）年度には守山市の「JA近江富士ファーマーズ・マーケットおうみんち」が交流促進部門で農林水産大臣賞を受賞している。農林水産大臣賞は各年度2団体程度に授与される賞であり、2015年からの3年連続の滋賀県勢の受賞は農産物の地産地消への取り組みが全国に先駆けて進んでいるであろうことを伺わせる結果である。

地産地消の課題として、農業従事者の高齢化と減少は避けて通れない。それは農産物の消費者への供給に直結する。農業の効率化（大型化）、6次産業化（生産、加工、販売の一体化）などが推進されると思われるが、TPP（Trans-Pacific Partnership）の影響など見通せない問題もある。GAP（Good Agricultural Practices）認証へどのように対応するかも課題である。

#### 4. 引用文献

- (1) <http://www.city.kusatsu.shiga.jp/citysales/miryoku/minna/cookpadkenzo.html>  
(草津市 HP)

#### 5. 参考文献

- (1) <http://shigaquo.jp/oishiga/>  
(おいしが うれしが HP)
- (2) <http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/ecm/back/2010oct/tokushu/index1.html>  
(富山県 HP)
- (3) <http://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/37/tisantisyousenryaku.pdf>  
(大津市 6次産業化・地産地消推進戦略)
- (4) [https://www.e-toroku.jp/chisan\\_chisho2018/](https://www.e-toroku.jp/chisan_chisho2018/)  
(地産地消優良活動 HP)
- (5) [http://www.maff.go.jp/j/shokusan/gizyutu/tisan\\_tisyo/](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/gizyutu/tisan_tisyo/)  
(農林水産省 HP)

#### しが消費生活研究会について

しが消費生活研究会は、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）西日本支部に属する自主研究会です。

ホームページ <http://www.geocities.jp/siga11000/>

メールアドレス west-shiga@nacs.or.jp